12月5日（あと9日！）

リーダーシップ教育班議事録（メンバー：田代、豊田、横井）

☆今日話し合ったこと

①高校の選定方法をどうしようか？

→そもそも、「エリートとしての人格教育」を行うべき中等教育を行っている中・高ってどこ？

【問題意識の再確認】

「リーダー」のポジションで役割を全うできる人がいない・これからより必要

　　↓

「リーダー」とは選ばれた少数の人

　　↓

中等教育段階への入学段階で、選抜性の高い中高をみる（学力、芸術、スポーツ）

そこで倫理観・社会的責任感を養う教育ができているのかどうかを検証していく

※実際に倫理観・社会的責任感が身についたかどうかはここでは関係ない、あくまでそのような教育を行っているかどうかが問題

②エリート的人格とはどういうものを指している？

→具体的な言葉で書くとそれってなに？

「社会的責任感」や「社会にどう貢献できるか」←これは皆が持つべきものでは？

よって、エリート的人格形成での鍵は「エリートとしての自覚」ではないか？

→それは、将来社会において自分が重要な役割を担う、という意識のこと。

③まとめ

中等教育段階への入学段階で、選抜性の高い中高をみる（学力、芸術、スポーツ）

そこで「エリートとしての自覚（倫理観）」を養う教育ができているのかどうかを検証していく

※実際に倫理観・社会的責任感が身についたかどうかはここでは関係ない、あくまでそのような教育を行っているかどうかが問題

☆新たな問題

①「エリートとしての自覚」を養うことを目的とした教育って具体的にどんなもの？

→これを決めないと、資料を集めても分析不可能

②学力以外の選抜性の高い学校をどう選出するべき？

→有名な人を輩出している、藝大への入学者数をみることでは意味がないのでは？あくまで、中等教育段階への選抜性の高さで選定する必要がある。